



東北大学



報道機関各位

2014年2月7日
東北大学大学院医学系研究科
エコチル調査宮城ユニットセンター

宮城県のエコチル調査協力者 9000 人を突破

—当初の目標数に到達後も県北西部では3月末日まで登録を継続—

環境省が2011年1月24日より開始した「エコチル調査^{*}」(子どもの健康と環境に関する全国調査)の宮城県の協力登録者数が、2014年2月6日に、9000人を突破しました。

エコチル調査は、全国15拠点で10万人を目標として取り組んでいます。宮城県では、当初、3年間の予定期間で登録者数9000人達成を目標としており、調査対象地域は県北西部(大崎市、栗原市、登米市、加美町、色麻町、美里町、涌谷町)と、沿岸地域(石巻市、気仙沼市、南三陸町、女川町、岩沼市、亘理町、山元町)からなります。それらの地域は、2011年3月11日の東日本大震災と4月7日の余震により甚大な被害を受け、登録の中断を余儀なくされました。しかし、再開後は、調査協力者の皆様と関係医療機関・自治体のご支援により順調に推移し、当初の予定である9000人の登録を得ることができました。

調査の意義に賛同し協力された妊婦さんとそのご家族の皆様、関係医療機関・自治体の皆様に感謝し、これからも子どもの健康のために、本調査を続けてまいります。さらにエコチル調査を通して、宮城の復興を活気づけられるように努力して行く所存です。

なお、全国からの調査協力者の募集継続の要請に応え、県北西部(大崎市、栗原市、登米市、加美町、色麻町、美里町、涌谷町)では3月末まで登録を継続しています。今後ともエコチル調査のご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

*₁エコチル調査：子どもの成長・発達に環境（洗剤・食品に含まれる化学物質、空気などの住環境、生活習慣等）がどのように影響を与えているかを明らかにする目的で始められ調査で、お子さんがお母さんのお腹の中にいるときから 13 歳になるまで全国で 10 万組の親子に調査に参加していただくことを目標としています。

全国 15 地域で実施され、宮城県の調査を東北大学が担当し 9000 人の協力を得ることを目標とされました。

【お問い合わせ先】

エコチル調査宮城ユニットセンター

目時 弘仁（めとき ひろひと）

電話番号：022-717-7577

Eメール：hmetoki@med.tohoku.ac.jp

【報道担当】

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室

長神 風二（ながみ ふうじ）

電話番号：022-717-7891

ファックス：022-717-8187

Eメール：f-nagami@med.tohoku.ac.jp